

施工仕様書 「グッセラ・Gマーブル(シングル目地仕様)」

用途 住宅、マンション、事務所、店舗、学校、その他の建築物(新築・改修)の内外壁面。  
 適用下地 旧塗膜面、磁器タイル等の改修下地。コンクリート面、セメントモルタル面、プレキャストコンクリート部材、ALCパネル、その他各種板・ボード類等。  
 施工不可部位 天端(笠木・手すり・セットバック等)や幅木、パラベットの施工は避けてください。

- ※ 本施工の前に必ず試験塗装を行い、希釈量(粘度)・塗付量(厚み)・色調等を確認し、標準見本が再現できるよう確認してください。
- ※ 表中の数値は標準状態および塗装面が平滑時の値です。施工時期・下地の形状・状態により、多少の差異を生じる事があります。間隔時間は気温23℃(湿度50%)の場合ですが、低温・高温等で乾燥条件が悪い環境の場合は間隔時間を長めにとってください。

【標準施工仕様】1色吹きの場合

工程	使用材料名と割合	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	使用器具	回数	間隔時間
1 下地調整	・新設下地の場合、補修・清掃を実施した上、必ず下地の種類に応じたシーラー処理をしてください。 ・改修の場合、旧塗膜の状況や素地の状態に応じ、必要な処理および下地調整をしてください。 (脆弱塗膜の除去、水洗(24時間以上乾燥)、補修、シーラーや下地調整塗材塗布など)				
2 目地着色	目地着色材 20kg 清水 0~2kg	0.15~0.4	・リシガン、万能ガン 口径:4mm 圧力:390~590KPa ・ウールローラー	1~2	24時間以上
3 墨出し	設計や元請の指示に従い目地割りし、水盛、下げ振り、またはトランシットを使用して墨出します。				
4 目地棒貼	目地棒を墨出しに沿って、正確に貼り付けます。				
5 主材塗り(下塗り)	グッセラ・Gマーブル(A材) 20kg 清水 0.4~0.8kg	2.0~2.5	・リシガン、万能ガン 口径:5~6mm 圧力:390~590KPa	1	3時間以上
6 主材塗り(上塗り)	グッセラ・Gマーブル(A材) 20kg 清水 0~0.8kg	3.5~4.0	・タイルガン 口径:8~10mm 圧力:290~390KPa	1	0~20分
7 押え	ステンレス製コテ又はプラスチック製ヘラ(特製品)で主材塗り(上塗り)直後から20分以内に上から軽く仮押さえし、次に一定方向に押し出すように仕上げ押えを行い2段階で仕上げます。				
8 離形紙取り	主材表面が乾燥する前に目地棒上部の離形紙を取り除きます。				
9 目地棒除去	24時間以上乾燥後、目地棒を取り除きます。				

2色吹きの場合

工程	使用材料名と割合	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	使用器具	回数	間隔時間
1 下地調整	・新設下地の場合、補修・清掃を実施した上、必ず下地の種類に応じたシーラー処理をしてください。 ・改修の場合、旧塗膜の状況や素地の状態に応じ、必要な処理および下地調整をしてください。 (脆弱塗膜の除去、水洗(24時間以上乾燥)、補修、シーラーや下地調整塗材塗布など)				
2 目地着色	目地着色材 20kg 清水 0~2kg	0.15~0.4	・リシガン、万能ガン 口径:4mm 圧力:390~590KPa ・ウールローラー	1~2	24時間以上
3 墨出し	設計や元請の指示に従い目地割りし、水盛、下げ振り、またはトランシットを使用して墨出します。				
4 目地棒貼	目地棒を墨出しに沿って、正確に貼り付けます。				
5 主材塗り(下塗り)	グッセラ・Gマーブル(A材) 20kg 清水 0.4~0.8kg	2.0~2.5	・リシガン、万能ガン 口径:5~6mm 圧力:390~590KPa	1	3時間以上
6 主材塗り(上塗り)	グッセラ・Gマーブル(A材) 20kg 清水 0~0.8kg	3.5~4.0	・タイルガン 口径:8~10mm 圧力:290~390KPa	1	追い吹き
7 主材塗り(ちらし吹き)	グッセラ・Gマーブル(B材) 20kg 清水 0~0.8kg	0.2~0.5	・タイルガン 口径:8~10mm 圧力:290~390KPa	1	0~20分
8 押え	ステンレス製コテ又はプラスチック製ヘラ(特製品)で主材塗り(上塗り)直後から20分以内に上から軽く仮押さえし、次に一定方向に押し出すように仕上げ押えを行い2段階で仕上げます。				
9 離形紙取り	主材表面が乾燥する前に目地棒上部の離形紙を取り除きます。				
10 目地棒除去	24時間以上乾燥後、目地棒を取り除きます。				

※注意事項

- ・主材塗り(下塗り)は、下地が均一に隠れるように吹付ます。この際、材料を吹き過ぎて流れないようにしてください。
- ・薄め過ぎ、圧力の上げ過ぎ等は粗目の骨材がのらない原因となります。
- ・主材塗り(上塗り)はまずベースになる色を玉吹き状に70~80%隠蔽する程度で吹付け、追い吹きで斑点になる色をちらし吹き程度に吹付けてください。
- ・次にこの主材塗り(上塗り)直後から20分以内にコテ又はヘラで縦方向又は横方向に押し出すように押えてください。
- ・押えの移動は、縦方向又は横方向だけの一方方向で仕上げてください。
- ・この工程は本施工に入る前に、必ず試験吹きを行い、パターンの確認及びコテ又はヘラ押えのタイミングをつかんでください。